

大阪府少子化対策プラン(概要) 【R8年3月策定】

■現状・背景

- 大阪府の合計特殊出生率(R6)は、全国同様、過去最低を記録(全国:1.15、大阪府:1.14)。
- 結婚観・家族観が変化する中、少子化の背景として「未婚化・晩婚化」「有配偶出生率の低下」「市町村間のバラツキ」などがある。

※本プランの位置付け

少子化対策調査も参考にしつつ、府の少子化対策の具体的方向性と主な施策をとりまとめた、「大阪府子ども計画(少子化対策も含めた子ども施策の行政計画)」における少子化対策の行動計画(アクションプラン)。今後も国の動向等を注視しながら随時改訂。

■少子化対策調査の結果

- 所得が高い市町村では有配偶率が高い傾向が、女性完全失業率が高い市町村では第2子の有配偶出生率が低い傾向が見られる。
- 欧米諸国では日本よりも経済的支援が手厚く、男性が育児休業を取得しやすい環境が整備されている国が多い(仏・独・瑞)。
- 妊娠・出産支援や保育・子育て支援についてはほとんどの市町村で取り組まれているが、結婚支援や働き方改革の促進などに取り組んでいる市町村は少ない。

■施策の方向性(3つの壁・5つの方向性)

- 少子化の要因を「**結婚の壁**」「**1人目の壁**」「**2人目の壁**」に焦点化。
- この「**3つの壁**」を乗り越えるべく、「**(1)出会いの機会の創出・結婚支援**」「**(2)妊娠・出産への支援**」「**(3)共育ての推進(子育て環境整備・職場環境づくり)**」「**(4)生活を支える基盤の安定**」「**(5)市町村支援の充実**」の「**5つの方向性**」で施策を推進し、中長期的に**少子化傾向の反転をめざす**。

【施策の全体像】

結婚の壁	1人目の壁	2人目の壁	
(1)出会いの機会の創出・結婚支援	(2)妊娠・出産への支援	(3)共育ての推進(子育て環境整備)	(3)共育ての推進(職場環境づくり)
・ライフデザイン講座の開催<福祉> ・民間団体と連携した結婚支援<福祉> ・子育て・結婚応援ポータルサイトによる情報発信<福祉> ・婚活イベントの開催<福祉> ・婚活アプリ・サイトの認証制度の周知<福祉>	・周産期・小児医療等の体制整備<健医> ・プレコンセプションケアの推進<健医> ・早発卵巣不全患者等への支援<健医>	《保育》 ・保育士等の確保<福祉> ・病児保育の広域利用<福祉> ・こども誰でも通園制度の実施<福祉> 《子育て支援》 ・まいど子どもカードを活用した共育て応援<福祉> ・小1の壁等の解消や放課後等の子どもの居場所づくり<福祉> 《教育》 ・教育の充実<教育>	・中小企業や労働者からの相談対応<商労> ・子育てと仕事の両立支援等のセミナーの開催<商労> ・女性の就業継続のための啓発冊子の作成<商労> ・性別役割分担意識の解消等をめざすイベントの実施<府文>
(4)生活を支える基盤の安定			
《住宅支援》 ・公的賃貸住宅による支援の充実<都整> ・民間住宅の活用促進<都整> ・住宅支援制度の一元的情報発信<都整>	《経済的支援》 ・児童手当・児童扶養手当の支給<福祉> ・高等学校等の授業料無償化<教育・副首都>	《就業支援》 ・OSAKAしごとフィールドにおける就職支援<商労> ・リスキリング、スキルアップ支援<商労> ・公共職業訓練<商労>	
(5)市町村支援の充実			
・市町村の少子化対策を促進するため、新子育て支援交付金等によるバックアップ機能を強化<福祉>			

■目標指標

[短期]婚姻率、出生率ともに令和6年度以上、夫の家事関連時間:2時間以上に増加 [中長期]合計特殊出生率:少子化傾向の反転